

尼崎のふるさと まちに残る

美



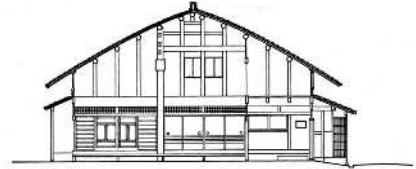
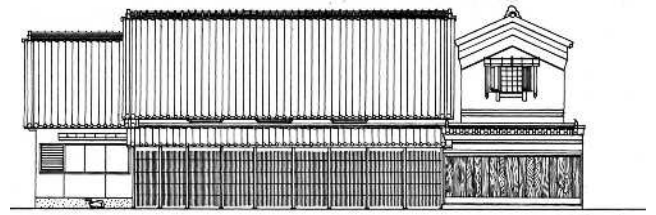
松琴会とは、尼崎市の都市美形成建築物に指定された伝統的木造建築物や近代建築物などの所有者が、お互いに交流し情報交換を図っている会です。

学識経験者や専門家の指導助言を得ながら、市内外の伝統的建築物の所有者と交流するなど、建築物の保存や活用について学び、地域の大切な景観や文化を守るなどの活動を行っています。

尼崎市都市美形成建築物所有者ネット研究会・松琴会

①福井邸 尼崎市都市美形成建築物 第1号

ひょうご住宅百選



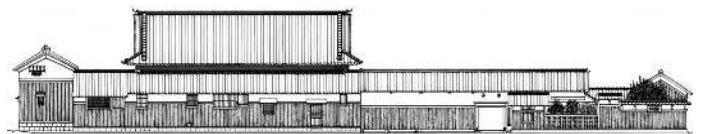
【所在地】 尼崎市築地 4 丁目

【特徴】 尼崎の代表的な町家で、大工の棟梁が三代かけて丁寧に作られたものである。その位置は町家を面的に残していた旧築地町のほぼ中央にあった。二度の風水害や震災を乗り越え保存されたもので、築地の町家は福井邸1件だけになっている。うだつのある厨子二階建の主屋は、尼崎市史によれば明治2年に建てられたものとされている。



②森松邸 尼崎市都市美形成建築物 第3号

国登録有形文化財

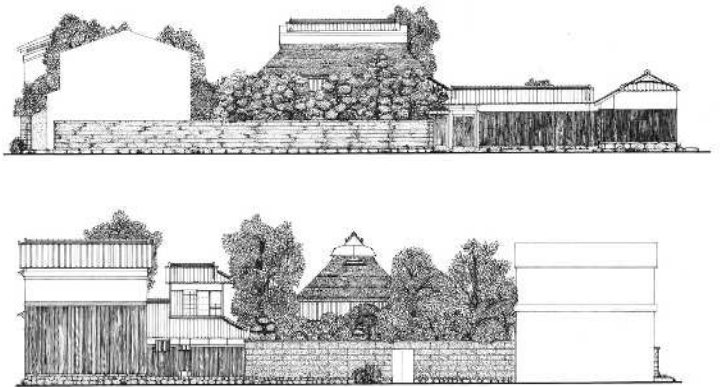


【所在地】 尼崎市武庫之荘東 1 丁目

【特徴】 大阪近郊の豊かな農村の庄屋層の外観をよく伝えるもので、道路からよく見え、周囲を圧倒する規模を持っている。その位置は阪急武庫之荘駅北東部の集落、旧西富松のほぼ中央にある。厨子二階建の主屋は尼崎市史によれば 19 世紀中頃に建てられたものとされている。



③岡村邸 尼崎市都市美形成建築物 第4号

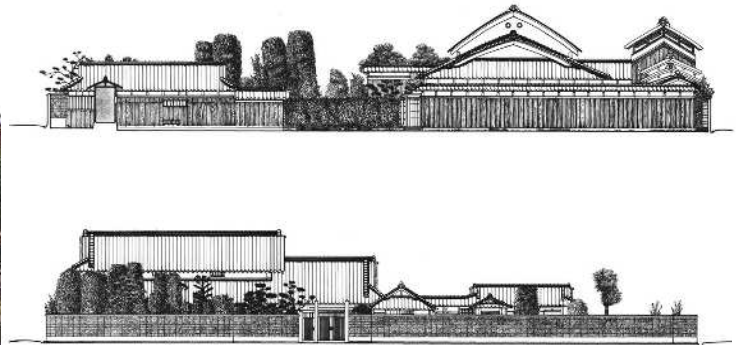


【所在地】 尼崎市潮江2丁目

【特徴】 市街地では極めて数少ないものとなっているカヤ葺の農家である。その位置は尼崎東部のJR尼崎駅北側にある集落、旧潮江のほぼ中央にある。納屋・門・塀などの外構は新しくなっているものの、カヤ葺の大屋根の輪郭は美しい。



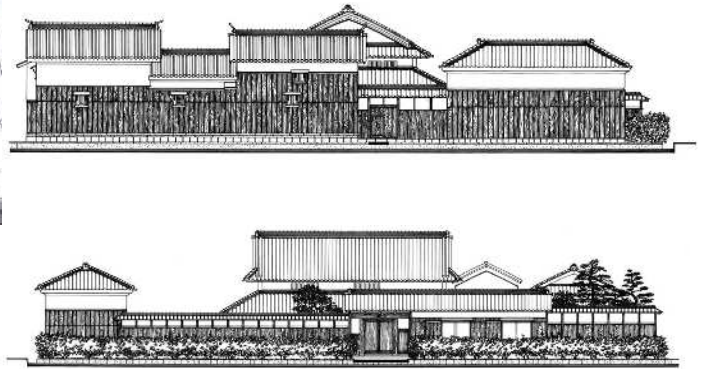
④島中邸 尼崎市都市美形成建築物 第5号



【所在地】 尼崎市大庄北2丁目

【特徴】 広々とした敷地に厨子二階建の主屋と蔵が並び、庭がほどよく配置されている。その位置は尼崎西部の国道2号北側の集落、旧今北の東端を南北に通る道路に面しており、周囲からもよく見える。





【所在地】 尼崎市西昆陽 3 丁目

【特 徴】 L字型に流れる水路に面しており、どっしりとした屋敷構えで、落ち着いた雰囲気醸し出している農家である。その位置は尼崎北部の武庫川沿いの集落、旧西昆陽のほぼ中心にある。厨子二階建の主屋はしっかりとした造りで、塀、生垣、門などの外構や庭もよく手入れされている。付属屋も多く、特に西側の蔵の並びは美しい。

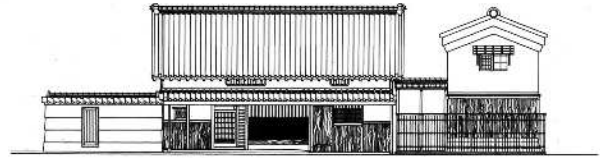
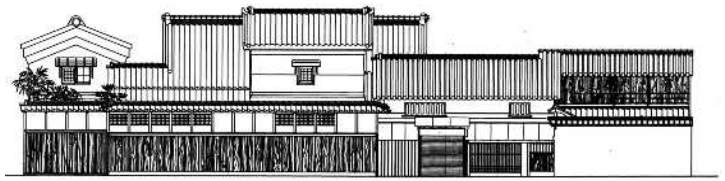


【所在地】 尼崎市東桜木町

【特 徴】 市内における数少ない明治期のレンガ造の建築物の一つであり、歴史・文化的価値が高いものである。昭和47年の移築時に主構造を鉄筋コンクリート造として改築されたが、外観・内部造作とも完全に復元されている。又、尼崎の代表的な歴史的景観地域である「寺町地域」に位置し、優れた近代建築としてその歴史的景観を特徴づける重要な役割を果たしている。

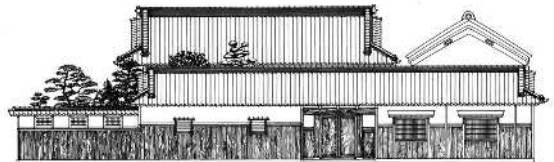


移築前の写真（尼崎市立地域研究史料館 所蔵）



【所在地】 尼崎市西本町 2 丁目

【特 徴】 国道 43 号以南に位置している旧中在家町の中にある町家である。尼崎を代表する町家の一つである。厨子二階建の大屋根の瓦のどっしりとした構えと北側の一階の開口部の親子格子の美しさが、落ち着いた、たたずまいを漂わせている。

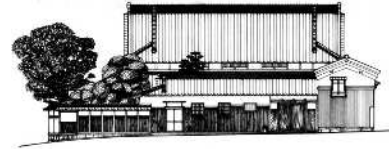


【所在地】 尼崎市塚口本町 1 丁目

【特 徴】 寺内町として栄えた集落、旧塚口の南東に位置しており、大正初期に建てられたときから樽薦屋を営んでいる。主屋の厨子部は比較的背が高く、虫籠窓も大きくなっており、建築年代が下ることがわかり、現在も生産の場である。



⑨村田邸 尼崎市都市美形成建築物 第12号



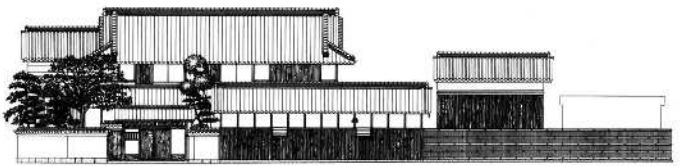
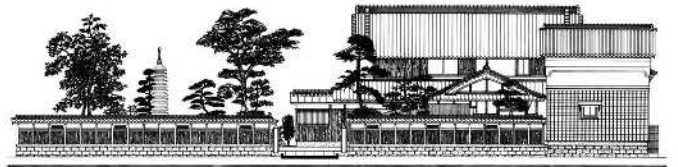
【所在地】 尼崎市東園田町 4 丁目

【特 徴】 尼崎市北部の藻川東側の集落、旧穴太の西端に位置している農家形式の住宅である。屋敷全体が周辺の通りからよく見渡せ、比較的新しい建築様式であるが周囲を圧倒するほどの大屋根や、緑豊かな庭、門、塀などが落ち着いた雰囲気醸し出している。長屋門は以前園田郵便局として使われており、その表札が今も残されている。



⑩芦田邸 尼崎市都市美形成建築物 第17号

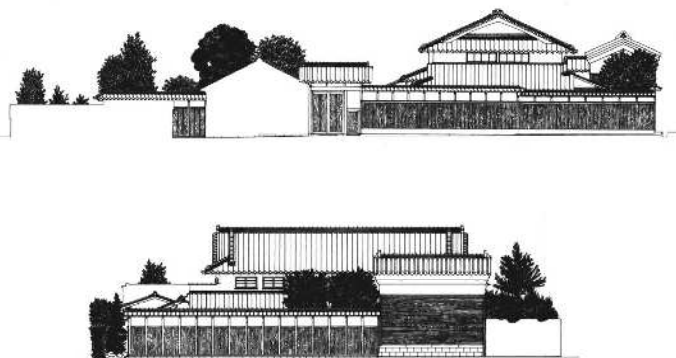
国登録有形文化財



【所在地】 尼崎市食満 3 丁目

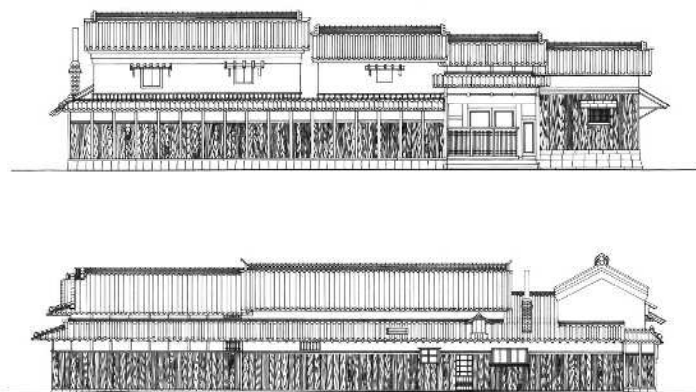
【特 徴】 尼崎北部の藻川南側の集落、旧上食満の北端に位置している農家である。二階建ての主屋は比較的新しいものの昔の形式をよく継承しており、新しくなった門・塀の外構や蔵も周囲の田園風景とよく調和し、落ち着いた雰囲気醸し出している。特に北側からの姿は美しい。





【所在地】 尼崎市戸ノ内町3丁目

【特徴】 尼崎東部の猪名川の東側中州にある旧集落、旧戸ノ内の西端に位置している。その中において当邸は、厨子二階建の主屋が緑豊かな庭とともに落ち着いた雰囲気醸し出している。特に北側の通りに面する乾倉の腰板は、かつては船板でつくられ、往年の旧集落の姿を知ることが出来る。

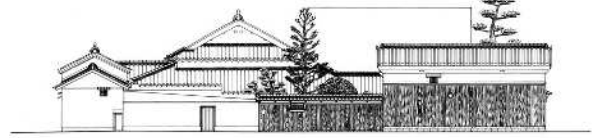
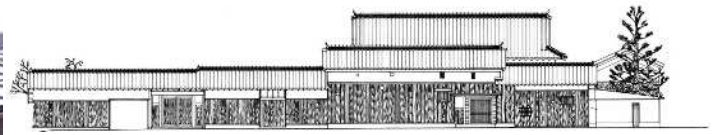


【所在地】 尼崎市長洲本通3丁目

【特徴】 尼崎市中心部の東寄りにある、長洲の旧集落に位置する。当邸は、市の南北幹線道路の1つである大物線沿いに長洲天満神社を挟んで建てられており、神社に面した西側の蔵や門の建ち並ぶ様子や、切妻厨子二階建の主屋が、神社の樹木とともに落ち着いた雰囲気を醸し出している。



⑬西村邸 尼崎市都市美形成建築物 第25号



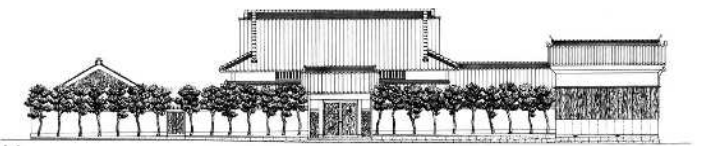
【所在地】 尼崎市武庫之荘本町 1 丁目

【特 徴】 尼崎市北部にある、武庫之荘の旧集落に位置する。当邸の東側に立地する児童公園に面した側の長屋門等の並ぶ様子は、公園の樹木とともに落ち着いた雰囲気醸し出している。また、西側の田圃越しに見える蔵の並びも、厨子二階建の主屋の大屋根とともに落ち着いた雰囲気醸し出している。



⑭小西邸 尼崎市都市美形成建築物 第26号

国登録有形文化財

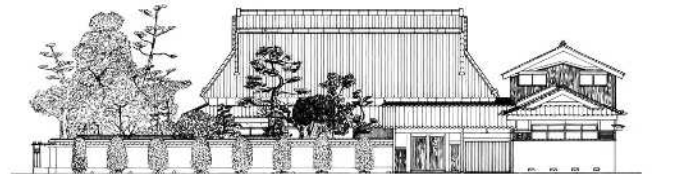


【所在地】 尼崎市七松町 2 丁目

【特 徴】 尼崎市中央部に位置する旧集落、七松の南西部に位置する。周辺の市街化が進む中、当邸周辺は集落景観が残っている。大正期に建造された当邸の主屋の大屋根は、敷地西側に立地する児童公園付近などから眺められ、その輪郭は美しい。



⑮廣田(栄)邸 尼崎市都市美形成建築物 第27号



【所在地】 尼崎市上坂部 2 丁目

【特 徴】 尼崎市中央部にある上坂部の旧集落の北部に位置する。現在、茅の上に銅板が葺かれた大屋根を持つ主屋は、明治中期に建てられたもので、銅板は昭和50年に葺かれた。敷地前面を東西に通るコミュニティ道路沿いなどから主屋の大屋根が良く見え、緑豊かな庭とともに落ち着いた雰囲気醸し出している。



⑯廣田(得)邸 尼崎市都市美形成建築物 第28号



【所在地】 尼崎市上坂部 2 丁目

【特 徴】 尼崎市中央部にある上坂部の旧集落に位置し、市街地では極めて少ない茅葺きの主屋を持つ。茅葺の大屋根の輪郭は美しく、その保存状況も極めて良好である。また南側の道路からもよく見え、庭の豊かさともあいまって、落ち着いた雰囲気醸し出している。



⑰宮崎邸 尼崎市第7回まちかどチャームिंग賞 まちかどスポット部門受賞



【所在地】 尼崎市大島 1 丁目

【特 徴】 尼崎南部で武庫川の東側にある西大島の旧集落に位置し、平成 18 年にまちなみと調和するように改築された。外壁の黒漆喰、一文字瓦葺きの屋根など周囲の景観がうまく取り入れられ、地域の歴史の重みを感じさせ、過去からの記憶を繋ぐものとなっている。また、敷地の南東角、塀の外側にゆとりを持たせ、黒壁を背景に木々のゆらぐ風景は地域の人々の心を和ませている。



⑱玉垣邸 尼崎市第7回まちかどチャームिंग賞 まちなみ景観・都市美形成活動部門受賞



【所在地】 尼崎市宮内町 3 丁目

【特 徴】 尼崎南部の蓬川の東側にある竹谷新田の旧集落に位置する。周辺の市街化が進む中、昭和初期に建造された当邸とその並びに建つ同年代に建築された建築物は、敷地西側に立地する和風公園付近などから眺められ、その並びは昭和のよきまちなみを彷彿させる。また、そのまちどおりは、地元自治会の自発的な河川側道の清掃活動を通じてよく残されている。



蓬川側道

⑱ 森邸



【所在地】 尼崎市稲葉元町 2 丁目

【特 徴】 尼崎市の西部、旧今北村に位置している。敷地西側の通り沿いには、北に葺や高い板壁塀が並び、南は低い石塀で囲われた庭となっている。入母屋造、厨子二階建の主屋の大屋根が周辺からよく見え、葺や板壁塀の建ち並びの様子などが落ち着いた雰囲気を出している。



⑳ 田中邸 尼崎市第8回まちかどチャームング賞 まちなみ建造物部門受賞



【所在地】 尼崎市神崎町

【特 徴】 神崎川の渡しの近くに位置する、平入り切妻造、厨子二階建の町家で、正面 10 間、奥行 9.5 間の堂々とした構えを有している。耐震性や利便性を考慮した改修により、屋根、黒壁、虫籠窓、格子、腰板を新しく整え、主屋東側の駐車場も同様の手法でしつらえ、伝統的な民家の面影と地域固有の景観の維持に貢献している。



松琴会会員建物位置図



都市美形成建築物とは、尼崎市が市民に親しまれている民家等を昭和63年から指定し、協働で保存活動を進めている建物です。これまでに28件の指定を行いました。平成7年の阪神大震災により、11件が倒壊し、現在では17件の指定となっています。

①~⑳の番号は松琴会会員の建築物
A~Dはその他の歴史的建築物（下記に説明）

その他の歴史的建築物

A 寺町

阪神尼崎駅の南西側に、かつて城下町であった面影を今に伝えている寺町地域があります。11ヶ寺が軒を連ね、尼崎市を代表する歴史的、伝統的なまちなみ景観を形成しており、文化財の宝庫となっています。特に寺院の塀は連続して設けられ築地塀風に修復されています。尼崎市の都市美形成地域に指定されています。



B 阪神電鉄レンガ倉庫

阪神尼崎駅の南東側の線路沿いにあるこの倉庫は、もともとは発電所として建設されました。阪神電鉄は明治38年（1905年）に開業、明治41年（1908年）に電力事業も開始しました。屋根は切妻造の鉄骨トラス組で、外壁はレンガ積となっています。今は資材倉庫として使われていますが、その当時の様子がよくわかる建物です。



C ユニチカ記念館

城内地区から国道43号線沿いに東に行くと、ユニチカの前身である尼崎紡績株式会社が明治33年（1900年）に本社として建てたレンガ造りの風格ある建物があります。手入れの行き届いた庭園や建物内部には産業遺産として価値のある資料や、ユニチカガールのポスターなどが展示されています。県の景観重要建造物に指定されています。



D 大庄公民館

大庄西町3丁目に所在する鉄筋コンクリート造地上3階地下1階建ての建築物で、昭和12年（1937年）の竣工です。設計者は文化勲章受章者で、日本を代表する建築家の一人である村野藤吾です。茶褐色のタイルが外壁全面に貼られ、そのところどころに動植物のレリーフが飾られているのが特徴的です。国の登録有形文化財に指定されています。

